

ECLIPSE

DVDビデオ・ナビゲーション内蔵
DVD/CD AVシステム

AVN4403D



取扱説明書

オーディオ編



お買い上げいただき、ありがとうございます。
正しくご使用いただくために、
この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、お読みになった後も必要なときに
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。

FUJITSU TEN

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

 アドバイス	本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと 本機が故障したときにしていただきたいこと
 ワンポイント	知っておくと便利なこと 知っておいていただきたいこと

はじめに

本書の見方	6
特長	8
ご使用になる前に	10
ディスクについて	11
液晶パネルについて	13
TVについて	13

基本操作

モードの切り替え方	14
モードを切り替える	14
操作画面の表示	14
各モードの操作画面	15
音の調整	16
主音量の調整	16
操作音の設定	16
音質の調整	17
DSP (音場) の設定	18
DSP (音場) モードを 設定する ...	18
DSP (音場) の調整、記憶	18
DSP (音場) レベルを リセットする ...	18
EQ (イコライザ) の調整	19
音質を設定する	19
EQの調整、記憶	19
EQカーブの作成	20
各周波数の微調整	20
EQカーブをリセットする	20
リスニングポジションの設定	21
音量バランスの調整	22
小音量時の低・高音調整	23
サブウーファの調整	23

画面の調整・設定	24
画質調整画面の表示	24
ライト点灯時に昼画表示に するには ...	25
画面を消すときは	25
画質の調整	26
壁紙の切り替え	26
優先画面の設定	27
画面モード切り替え	28

ラジオの操作

ラジオの使い方	29
ラジオを聞く	29
聞きたい放送局を選ぶ	29
手動で選ぶ	29
自動で選ぶ	29
プリセットスイッチから選ぶ	29
放送局を記憶する	30
マニュアル (手動) で 記憶する ...	30
AUTO.P (自動) で記憶する ...	30
AUTO.Pで記憶した放送局を 変更する ...	30
エリアスイッチについて	31
局名スイッチについて	31
交通情報を受信する	32
周波数を変更する	32
ラジオを止める	32

CDプレーヤーの操作

CDプレーヤーの使い方	33
CDを聞く	33
聞きたい曲を選ぶ	33
早送り・早戻しする	34
聞きたい曲を探す	34

同じ曲を繰り返して聞く	34
曲の順番をランダムに聞く	34
CDを止める	34

CDチェンジャーの操作

CDチェンジャーの使い方	35
CDを聞く	35
聞きたい曲を選ぶ	35
早送り・早戻しする	35
聞きたいCDを選ぶ	35
チェンジャー内の全CDから	
聞きたい曲やCDを探す ...	36
聞きたい曲を探す	36
聞きたいCDを探す	36
聞きたい曲や同じCDを	
繰り返し聞く ...	36
いま聞いている曲を繰り返し	
再生する ...	36
いま聞いているCDを繰り返し	
再生する ...	36
曲の順番をランダムに聞く	36
いま聞いているCDの中から	
ランダムに聞く ...	36
チェンジャー内全CDの中から	
ランダムに聞く ...	36
CDを止める	36

MDチェンジャーの操作

MDチェンジャーの使い方	37
MDを聞く	37
聞きたい曲を選ぶ	37
早送り・早戻しする	37
聞きたいMDを選ぶ	37
チェンジャー内の全MDから	
聞きたい曲やMDを探す ...	38

聞きたい曲を探す	38
聞きたいMDを探す	38
聞きたい曲や同じMDを	
繰り返し聞く ...	38
いま聞いている曲を繰り返し	
再生する ...	38
いま聞いているMDを繰り返し	
再生する ...	38
曲の順番をランダムに聞く	38
いま聞いているMDの中から	
ランダムに聞く ...	38
チェンジャー内全MDの中から	
ランダムに聞く ...	38
MDのタイトルや曲名などを	
表示する ...	38
MDを止める	38

TVの操作

TVの使い方	39
TVを見る	39
見たいチャンネルを選ぶ	40
手で選ぶ	40
自動で選ぶ	40
プリセットスイッチから選ぶ ...	40
チャンネルを記憶する	40
マニュアル（手動）で	
記憶する ...	40
AUTO.P（自動）で記憶する ...	40
AUTO.Pで記憶したチャンネルを	
変更する ...	40
TV設定画面の切り替え	42
エリアスイッチについて	42
局名スイッチについて	43
音声多重放送を切り替える	43
TVモードを終わる	43

DVDの操作

DVDプレーヤーを

お使いになる前に ... 44

DVDビデオの特長 44

マルチ音声機能について 44

マルチアングル機能について ... 44

字幕表示機能について 45

ディスクについて 45

再生できるディスクの種類に
ついて ... 45

再生可能なディスクの地域番号
(リージョンコード)について ... 45

ディスクに表示されている
マークについて ... 46

ディスクの構成について 46

操作の流れについて 47

DVDプレーヤーの使い方 48

DVDを見る 48

映像を操作する 48

映像を再生する 48

早送り・早戻しする 49

パネルスイッチから

早送り・早戻しする ... 49

タッチスイッチから

早送り・早戻しする ... 49

映像を一時止める 49

映像を止める 49

ディスクメニューを操作する 50

DVDを止める 50

見たい映像を探す 50

チャプターから探す 50

タイトル番号から探す 51

メニュー番号から探す 51

タッチスイッチの表示を
切り替える ... 52

タッチスイッチを消す 52

タッチスイッチの表示場所を
切り替える ... 52

画面表示・音声の切り替え 53

アングルの切り換え 53

字幕言語の切り替え 54

音声言語の切り替え 54

DVDプレーヤーの設定 55

音声言語を設定する 56

コードを入力する 56

字幕言語を設定する 56

コードを入力する 56

メニュー言語を設定する 57

コードを入力する 57

マルチアングルマーク（アングル選
択マーク）の表示を設定する ... 57

視聴制限を設定する 58

映像出力を切り替える 59

言語コード一覧 60

VTRの操作

VTRの使い方 61

VTRを見る 61

VTRモードを終わる 61

ご参考に

知っておいて

 いただきたいこと ... 62

 こんなメッセージが

 表示されたときは ... 62

 故障とお考えになる前に 63

目的別索引 65

索引 70

目的別索引は各機能の説明ページを簡単に検索できます。
操作でお困りのときは、目的別索引から該当の操作を検索
してお使いください。

- 製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。
これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
- 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。

本書はやさしく取り扱ってください。

無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。
やさしい取り扱いをお願いします。

本書の見方

項目タイトル

項目ごとにタイトルがつけられています。

操作タイトル

操作目的ごとにタイトルがつけられています。

操作手順

操作の内容です。
番号の順に操作してください。

セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

基本操作

音質の調整

DSP (音場) の設定

再生する音楽に残響音を加え、あらかじめ設定されているさまざまな環境の臨場感を擬似的に再現できます。

DSP (音場) モードを設定する

- 1 DSP にタッチします。
 - 2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	音場モードの種類	タッチスイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホール	CLUB	ディスコ、クラブ
LIVE	ライブハウス	THEATER	映画館・劇場
CATHEDRAL	残響音の多い教会	OFF	DSP OFF

DSP (音場) の調整、記憶

あらかじめ設定されている各モードのDSP (音場) をお好みのレベルに調整、記憶することができます。

- 1 お好みの音場モードで、**▲**、**▼** にタッチします。
 - 2 調整した音場モードを“ピーツ”と音がするまでタッチします。
- 調整レベルは+側、-側各5段階です。



DSP (音場) レベルをリセットする

現在、記憶されているDSP (音場) レベルをメーカー調整値 (初期値) にもどすことができます。

- 1 **OFF** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。
- 音場レベルが初期値にリセットされます。



- THEATERの音場レベルは、DVD映画などの音響効果を高めるため、あらかじめ“+5”に設定されています
- DSP (音場) レベルを調整中に、別のDSP (音場) モードに切り替えた場合、設定しても調整レベルは記憶されません。

EQ (イコライザ) の調整

お聞きになる音楽ジャンルやソースによってお好みの音質で聞けるようにイコライザで音質を調整できます。

音質を設定する

あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、お好みの音質に設定できます。

- 1 EQ にタッチします。
 - 2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音質モードになります。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	音質モードの種類
FLAT	EQ補正なし
EQ1	POPSに効果のあるカーブ
EQ2	ROCKに効果のあるカーブ
EQ3	JAZZに効果のあるカーブ
EQ4	CLASSICに効果のあるカーブ
EQ5	VOCALに効果のあるカーブ

EQの調整、記憶

メーカー調整値を簡単に調整、記憶することができます。

- 1 調整したい音質モード、**EQ1**～**EQ5** にタッチして、音質モードを呼び出します。
- 2 **▲**、または **▼** にタッチして、お好みのレベルに調整します。
 - 調整レベルは+側、-側各5段階です。
- 3 記憶したいスイッチ **EQ1**～**EQ5** を “ピーツ” と音がするまでタッチします。
 - 記憶されたイコライザカーブで設定できるようになります。
 - 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



ワンポイント

- 次のときは **▲**、または **▼** にタッチしても調整できません。
 - 各音質モードをお好みにより周波数別で調整したとき（メーカー初期値以外）
 - FLAT** にタッチしたとき
- お好みに合わせて記憶した音質モードを呼び出し、周波数別で調整すると、調整レベルの数値は0にもどります。（調整レベルは記憶されています。）

▶ 次ページに続く

19

セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。

操作画面

操作する画面を表示しています。

ワンポイント

操作に関連することなどを記述しています。

次のページに続く

次のページに操作説明が続くことを表示しています。

特長

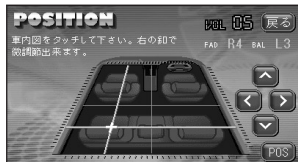
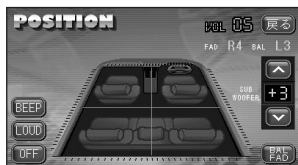
さまざまな演奏会場を擬似的に再現するDSP機能 (18ページ)

お聞きになる音楽のジャンルやソースによって、さまざまな環境の臨場感を擬似的に再現し、楽しむことができます。



好みの場所に音場の中心を設定するPOS、BAL/FAD機能 (21、22ページ)

簡単に音場の中心を設定することができます。また、各スピーカーの音量バランスを調整することにより、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。



緻密に調整できるイコライザ機能 (19ページ)

お聞きになる音楽のジャンルやお好みに合わせた音質を簡単に選ぶことができます。また、1つの音域を強調することも可能です。



壁紙の切り替え (26ページ)

インフォメーション (情報) 画面や、オーディオ操作画面などの背景色をお好みの色に切り替えることができます。



美しい映像と迫力あるサウンドが楽しめるDVDプレーヤー

(44ページ)

高画質・高音質で記録されたDVD-Videoを再生します。

(DVDは、映画1本分に相当する高画質映像と、CDを上回る高音質なデジタルサウンドを記録することができるメディアです。)



さまざまな画面サイズに対応できる画面モード切り替え機能

(28ページ)

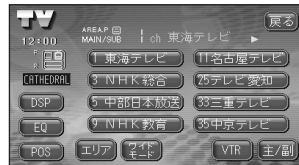
テレビなどの標準画サイズから映画などのワイドサイズまで4種類の中から画面サイズを選び、表示することができます。



旅先でも簡単に放送局を探し出す

エリアプリセット機能 (31、42ページ)

旅先など、放送局がわからない場所でも、その地域の放送局を表示、記憶することができます。一時的に記憶する機能なので、あらかじめ記憶させていた放送局もなくなりません。



システムアップ

●CDチェンジャー (35ページ) ・MDチェンジャー (37ページ)

複数のディスクをノンストップで再生するので、ロングドライブなどのとき便利です。

また、それぞれのチェンジャーの中から聞きたい曲を簡単に探し出し、再生することもできます。

●ビデオ接続コード

別売のビデオ接続コードを接続すると、本機で、ビデオカメラなどの映像をご覧になることができます。

ご使用になる前に



走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



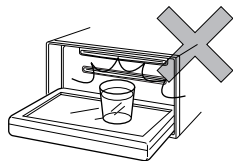
交通事故の原因となります。

走行中運転者はテレビの操作を極力しないでください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



交通事故の原因となります。

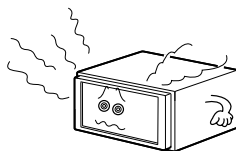
モニターの上にコップや缶など異物を置かないでください。また、モニターを倒したままにしないでください。



故障の原因となります。

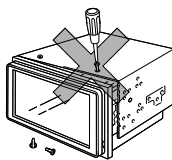
故障したままの使用は絶対しないでください。

煙、変な音、変なにおいがした場合、すぐに電源をOFFにしてください。



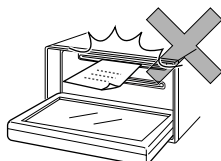
こんなときはすぐにオーディオの電源をOFFにしてください。

分解、改造はしないでください。



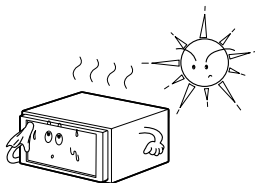
本機内部は、精密な構造になっていますので、万一不具合が生じた場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。

差し込み口にはディスク以外のものを絶対に入れないでください。



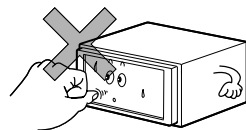
故障の原因となります。

車内温度には注意してください。夏期は車内温度が高くなりますので、車内の温度を下げたからお使いください。



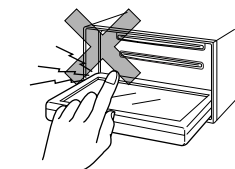
故障の原因となります。

モニターに強い力を加えたりしないでください。

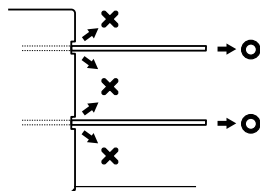


故障の原因となります。

モニター収納時指などを差し込まないように注意してください。



ケガをしたり、故障の原因となります。



本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。

上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながらかき出さないでください。

ディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。

ディスクについて



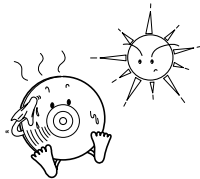
ワンポイント

- 寒いときや雨降りのかきは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生ずることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。
- コピーコントロールCD、レーベルゲートCDは再生できない場合があります。ご使用になる前に必ずディスクに付属されている説明書などをお読みください。
- CD-R（CD-Recordable）、CD-RW（CD-ReWritable）は、ディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていないCD-R、CD-RWやUDFフォーマットで書き込みされたCD-R、CD-RWは再生できません。
- 音楽用CD・映像用DVDは下記のマークのついたディスクが使用できます。



ディスクの取扱いについて

- ディスクは直射日光を避け、必ずケースに入れて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- 記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。
- ひびがはいったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。



- 記録面に触れないように持ってください。（虹色に光っている面）ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。
- 汚れたディスクを使用するとディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。ディスクが汚れたときは、市販のディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。

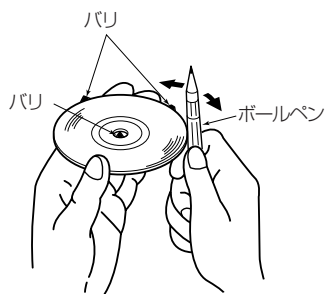


ご使用になる前に



新しいディスクについて

- 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、“バリ”の破片がディスクの信号面に付着し、音とびをする場合があります。



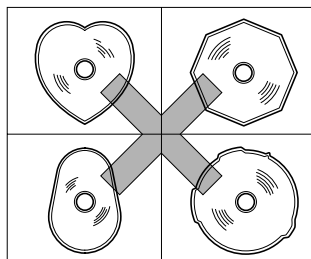
レンタルディスクについて

- ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



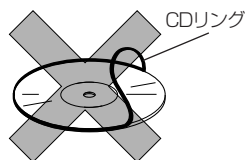
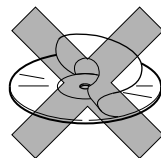
特殊形状のディスクについて

- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



ディスクのアクセサリについて

- 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリ（スタビライザー、保護シールなど）は使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。
- 音質向上や防振効果を高めるCDの保護用として市販されているアクセサリ（CDリング・プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



液晶パネルについて



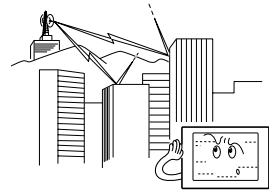
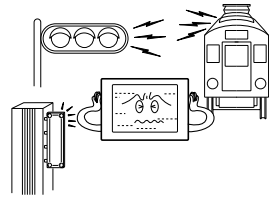
- 液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- 太陽の光などの外光が表示部にあると画面が見えにくくなります。

TVについて



- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断られたときは、セットしたチャンネルの記憶は全て消去されます。
- 車載TVの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。この関係の主な例を以下に説明します。

- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
- 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
- ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
- トンネル内にはいると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- 一部の地域において、TV、ラジオ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。



モードの切り替え方

モードを切り替える

- 1 **SOURCE** を押して、オーディオモードのタッチスイッチにタッチすると、タッチしたモードがスクリーン表示（オンスクリーン表示）されます。



- オンスクリーン画面

操作画面の表示

- 1 **CONT** を押します。



各モードの操作画面

各モードの操作画面は、次のように表示されます。

●AM操作画面



●FM操作画面



●CDプレーヤー操作画面



●TV操作画面



●DVDプレーヤー操作画面



●CDチェンジャー操作画面（別売）



●MDチェンジャー操作画面（別売）



「優先画面の設定」（27ページ）で画面の切り替えを自動解除に設定すると、操作画面を表示させてから約20秒以上（TV・DVD操作画面では約6秒以上）操作をしなかったときは、操作画面は自動解除されオンスクリーン表示に切り替わり、その後もとの画面にもどります。また、画面の切り替えを継続表示に設定すると、操作画面は自動解除されずに継続して表示されます。

音の調整

主音量の調整

1 VOLスイッチを押します。

●調整レベルは0~80です。

- ⊕ (上側) : 音量UP (大きくなる)
- ⊖ (下側) : 音量DOWN (小さくなる)



操作音の設定

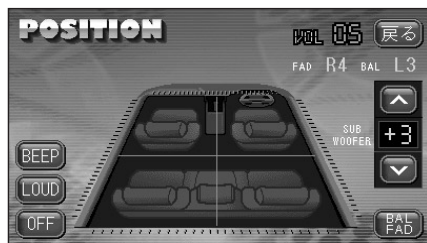
パネルスイッチを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの操作音 (BEEP音) を解除することができます。

1 各オーディオ操作画面、またはTV・VTR・DVD設定画面で**POS** にタッチします。



2 **BEEP** にタッチします。

●タッチスイッチの色が反転し、操作音が解除 (消音) になります。



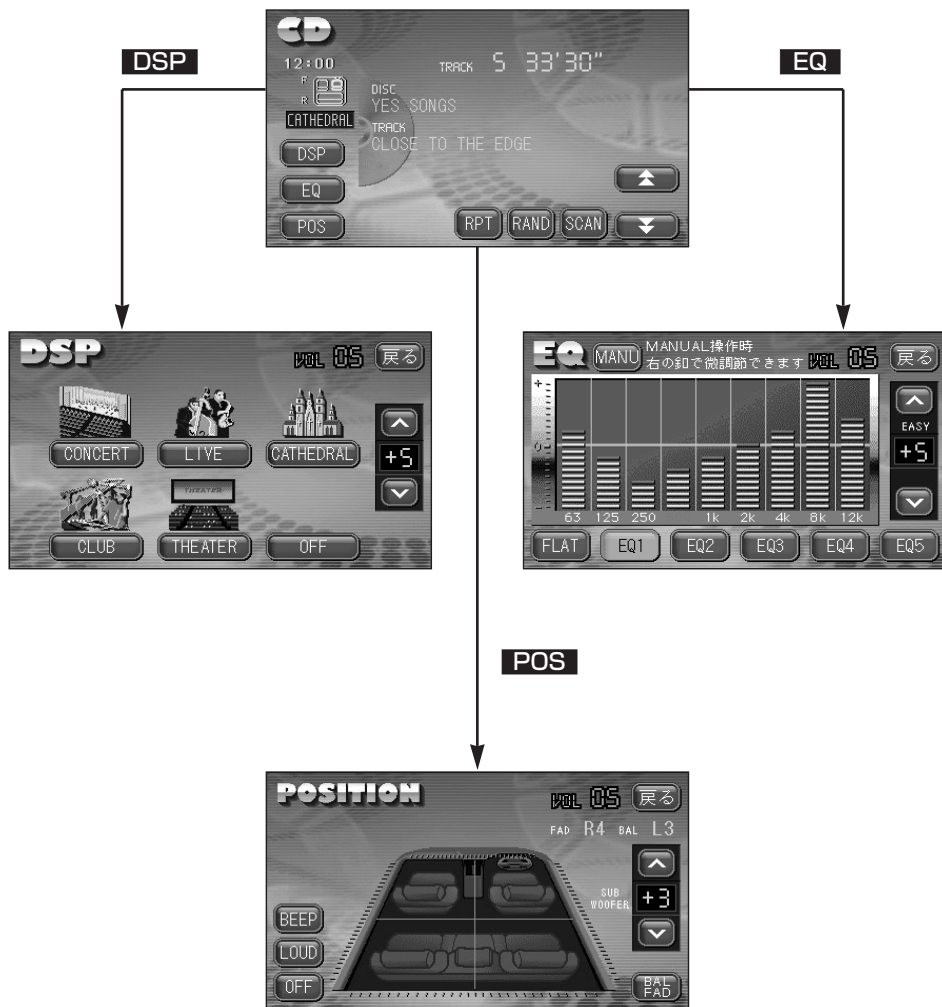
ワンポイント

- 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
- オーディオモードを切り替えたとき、音量に違いが生じることがあります。音量は、お使いになるオーディオモードに合わせて調整してください。
- DVDプレーヤーを再生中に音量を調整すると、DVDプレーヤー用の音量レベルとして記憶させることができます。
- DVDプレーヤー再生中に調整した音量レベルは、他のオーディオモードでは機能しません。DVDモードの前に使用していたオーディオモードで調整した音量レベルになります。
- TV、VTR操作画面では**設定** に、DVD操作画面では**NEXT**、**設定** の順にタッチすると音質調整のスイッチが表示されます。

音質の調整

音質の調整は、各モードの操作画面を表示させているときに、**DSP**、**EQ**、**POS** にタッチすると調整ができます。

各モードから調整を行っても共通で記憶されています。



ワンポイント

TV、VTR操作画面では**設定**に、DVD操作画面では**NEXT**、**設定**の順にタッチすると音質調整のスイッチが表示されます。

音質の調整

DSP（音場）の設定

再生する音楽に残響音を加え、あらかじめ設定されているさまざまな環境の臨場感を擬似的に再現できます。

DSP（音場）モードを設定する

1 **DSP** にタッチします。

2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。

●設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	音場モードの種類	タッチスイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホール	CLUB	ディスコ、クラブ
LIVE	ライブハウス	THEATER	映画館・劇場
CATHEDRAL	残響音の多い教会	OFF	DSP OFF

DSP（音場）の調整、記憶

あらかじめ設定されている各モードのDSP（音場）をお好みのレベルに調整、記憶することができます。

1 お好みの音場モードで、**▲**、**▼** にタッチします。

●調整レベルは+側、-側各5段階です。

2 調整した音場モードを“ピーツ”と音がするまでタッチします。



DSP（音場）レベルをリセットする

現在、記憶されているDSP（音場）レベルをメーカー調整値（初期値）にもどすことができます。

1 **OFF** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

●音場レベルが初期値にリセットされます。



- THEATERの音場レベルは、DVD映画などの音響効果を高めるため、あらかじめ“+5”に設定されています
- DSP（音場）レベルを調整中に、別のDSP（音場）モードに切り替えた場合、設定しても調整レベルは記憶されません。

EQ (イコライザ) の調整

お聞きになる音楽ジャンルやソースによって好みの音質で聞けるようにイコライザで音質を調整できます。

音質を設定する

あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、好みの音質に設定できます。

1 **EQ** にタッチします。

2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音質モードになります。

●設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	音質モードの種類
FLAT	EQ補正なし
EQ1	POPSに効果のあるカーブ
EQ2	ROCKに効果のあるカーブ
EQ3	JAZZに効果のあるカーブ
EQ4	CLASSICに効果のあるカーブ
EQ5	VOCALに効果のあるカーブ

EQの調整、記憶

メーカー調整値を簡単に調整、記憶することができます。

1 調整したい音質モード、**EQ1** ~ **EQ5** にタッチして、音質モードを呼び出します。

2 **▲**、または **▼** にタッチして、好みのレベルに調整します。

●調整レベルは+側、-側各5段階です。

3 記憶したいスイッチ **EQ1** ~ **EQ5** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

●記憶されたイコライザカーブで設定できるようになります。

●設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



ワンポイント

●次のときは**▲**、または**▼**にタッチしても調整できません。

●各音質モードをお好みにより周波数別で調整したとき（メーカー初期値以外）

●**FLAT**にタッチしたとき

●お好みに合わせて記憶した音質モードを呼び出し、周波数別に調整すると、調整レベルの数は0にもどります。（調整レベルは記憶されています。）

音質の調整

EQカーブの作成

あらかじめ設定されているイコライザカーブをお好みの音質に調整、記憶することができます。

- 1 お好みのイコライザカーブをイメージして指でゆっくり画面をタッチします。



- 2 記憶したいスイッチ **EQ1** ~ **EQ5** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- 記憶されたイコライザカーブで設定できるようになります。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

各周波数の微調整

お好みにより各周波数を調整することができます。

- 1 **MANU** にタッチして、マニュアルモードに切り替えます。

- MANU** が **EASY** になります。

- 2 微調整する場合は、調整したい周波数帯域にタッチし、**▲**、**▼** で微調整します。

- 選択された周波数の数字が赤色になります。

周波数帯域



- 3 記憶したいスイッチ **EQ1** ~ **EQ5** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- 記憶されたイコライザカーブで設定できるようになります。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

EQカーブをリセットする

現在、記憶されているイコライザカーブをあらかじめ設定されているイコライザカーブ（メーカー初期値）にもどすことができます。

- 1 イコライザカーブを呼び出します。

- 2 **FLAT** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- イコライザカーブが初期値にリセットされます。



- 画面上に **MANU**、画面右に“EASY”が表示されているときは、**MANU** にタッチし、**EASY** に切り替えてください。
- 微調整時に **▲**、**▼** にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 **▲**、**▼** にタッチしてください。

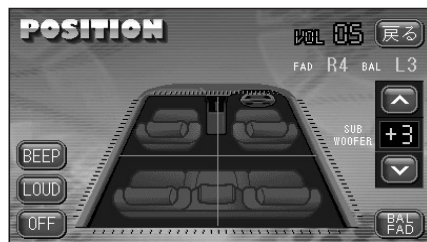
リスニングポジションの設定

人数、乗車位置に合わせて、音場感が楽しめる音像定位に切り替えることができます。各シートにタッチして簡単に音像定位を切り替えることができます。

1 **POS** にタッチします。

2 ポジション (シート) にタッチします。

- 設定されたポジションは橙色に表示が替わります。再びタッチすると設定は解除されます。表のような5つのポジションに設定できます。
- **OFF** にタッチすると、全ての設定は解除されます。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



表示	ポジション(位置)
	運転席を 中心にした音場
	助手席を 中心にした音場
	前席を 中心にした音場
	後席を 中心にした音場
	全席を 中心にした音場

音質の調整

音量バランスの調整

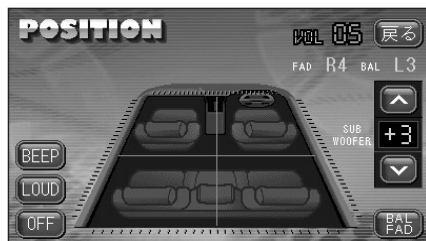
前後左右の音量バランスを調整し、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。

1 **POS** にタッチします。

2 **BAL FAD** にタッチします。

3 お好みのバランスポイントにタッチします。

- 微調整するときは、**▲**、**▼**、**◀**、または **▶** にタッチしてください。
- 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



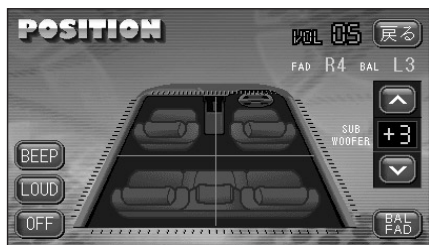
微調整時に **▲**、**▼**、**◀**、または **▶** にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値になった場合は停止するので、再度 **▲**、**▼**、**◀**、または **▶** にタッチしてください。

小音量時の低・高音調整

小さな音で聞いているときなどの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 POS設定画面で、**LOUD** にタッチします。

- **LOUD** にタッチすることにより、ON/OFFが切り替わります。
- 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。

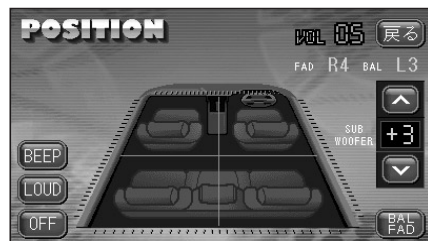


サブウーファの調整

サブウーファを接続したときに、お好みの出力レベルに調整することができます。

1 POS設定画面で、**▲**、または**▼**にタッチします。

- 出力レベルは4段階です。
- 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



画面の調整・設定

オーディオ操作画面や、TV、DVDの画質調整、壁紙の切り替えをすることができます。また、操作画面などを自動解除、または継続表示に設定することができます。

画質調整画面の表示

オーディオ操作画面のコントラストや明るさ、TV、DVD、VTR画面のコントラストや明るさ、色などを調整することができます。

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の消灯・点灯により昼画／夜画に表示が切り替わります。

- (初期状態) ●ライト消灯時…<昼画表示>
●ライト点灯時…<夜画表示>

<オーディオ操作画面>



●昼画表示<ライト消灯時>



●夜画表示<ライト点灯時>

<TV・DVD・VTR画面>



●昼画表示<ライト消灯時>



●夜画表示<ライト点灯時>

- 1 オーディオモードの操作画面、またはTV、DVD、VTR画面で**画質**を押します。
- 2 調整が完了したら、**調整完了**にタッチします。

●約20秒以上操作をしなかったときは、自動で設定し表示していた画面にもどります。



●オーディオ操作画面時



●TV・DVD・VTR画面時

ライト点灯時に昼画表示するには

- 1 **昼画面** にタッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。



●オーディオ操作画面時



●TV・DVD・VTR画面時

画面を消すときは

- 1 **画面消** にタッチします。

●再度、画面を表示させるには、**SOURCE**を押します。



「優先画面の設定」(27ページ)で画面の切り替えを自動解除に設定すると、操作画面を表示させてから約20秒以上操作をしなかったときは、画面に何も表示されなくなります。(**画面消** にタッチした状態にもどります。)

画面の調整・設定

画質の調整

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。



●オーディオ操作画面時



●TV・DVD・VTR画面時

■コントラスト

1 強くするときは**強**、弱くするときは**弱**にタッチします。

■明るさ

1 明るくするときは**明**、暗くするときは**暗**にタッチします。

■色合い (TV・DVD・VTR画面時のみ)

1 緑色を強くするときは**緑**、赤色を強くするときは**赤**にタッチします。

■色の濃さ (TV・DVD・VTR画面時のみ)

1 濃くするときは**濃**、淡くするときは**淡**にタッチします。

壁紙の切り替え

操作画面などの壁紙を切り替えることができます。

1 画質調整画面で、**壁紙**にタッチします。

●**壁紙**にタッチすることにより、壁紙が順に切り替わります。



優先画面の設定

インフォメーション（情報）画面、オーディオ・TV・DVD操作画面を表示させて、約20秒以上操作しなかったとき、自動的に「解除する（もとの画面にもどる）」、または「継続表示」に切り替えることができます。

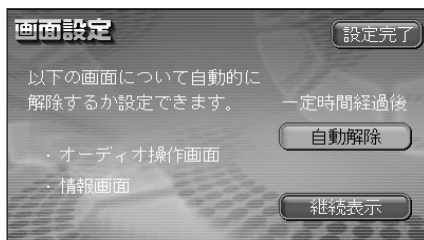
1 **INFO** を押します。

2 **画面設定** にタッチします。

3 **自動解除**、または **継続表示** にタッチします。

●各画面を継続して表示させるには **継続表示** にタッチしてください。

4 **設定完了** にタッチします。



ワンポイント

優先画面設定を **自動解除** に設定すると、オーディオ操作画面を表示しても、自動でナビゲーション画面に切り替わります。

オーディオ操作画面を表示させる場合は、**CONT** を押してください。また、ACCをOFFからONにしたときに、オーディオ操作画面を表示させる場合も、同様に **CONT** を押してください。

画面の調整・設定

画面モード切り替え

1 TV、VTR操作画面で**設定**、DVD操作画面では**NEXT**、**設定**の順にタッチします。

2 **ワイドモード** にタッチします。

●ワイドモード切り替え画面になります。

3 **標準**、**ワイド1**、**ワイド2**、または**ワイド3** にタッチします。

●ワイドモードを選択します。



■標準画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



■ワイド1画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



■ワイド2画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に非均等に拡大して表示します。



■ワイド3画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。

●ワイド画面放送を受信するときは、このモードに切り替えてください。



注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ラジオの使い方



ラジオを聞く

1 **SOURCE** を押します。

2 AMは **AM** に、FMは **FM** にタッチします。

聞きたい放送局を選ぶ

手で選ぶ

1 **▲**、または **▼** を押します。

- **▲** (上側) : 1ステップ上げるとき
- **▼** (下側) : 1ステップ下げるとき
(1ステップ: AM9kHz, FM: 0.1MHz)

プリセットスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

- 放送局の記憶は「**放送局を記憶する**」(次ページ)を参照してください。

自動で選ぶ

1 **▲**、または **▼** を“ピツ”と音がするまで押します。

- 現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、もう一度押すと解除します。



ワンポイント

受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

ラジオの使い方

放送局を記憶する

プリセットスイッチに放送局を記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは**AUTO.P**、または**エリア**（次ページ参照）にタッチすると、AUTO.Pまたはエリアからマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- 放送局（周波数）が記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。

AUTO.P（自動）で記憶する

1 **AUTO.P** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- “AUTO.P”が表示され自動的に選局を始めます。“ピーツ”と音がすると自動選局が終了し一時的に記憶されます。
- もう一度**AUTO.P**にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

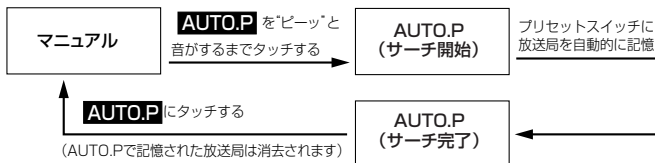
AUTO.Pで記憶した放送局を変更する

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

AUTO.Pについて

AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させた放送局は記憶されています。ふだんお聞きになる放送局をマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶した放送局は呼び出すことができます。AUTO.P動作中、または動作後に**AUTO.P**にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態にもどります。（このときAUTO.Pで記憶した放送局は消去されます。）AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



ワンポイント

- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局とAUTO.Pスイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信できた放送局が6局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局の受信周波数がわからないときに、その地域の放送局の表示・選局ができます。

1 エリア にタッチします。

- “AREA.P” の表示と、その地域で放送されている放送局名と周波数が表示されます。
- 表示されている放送局を選ぶときは、周波数の表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。



局名スイッチについて

ラジオを受信したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域で表示されます。

1 局名 にタッチします。

- 重複した放送局名が切り替わります。



放送が受信できても、放送局名を表示できない地域があります。

ラジオの使い方

交通情報を受信する

1 **[TRFIC]** を押します。

- あらかじめセットされている交通情報局（1620kHz）を受信します。



周波数を変更する

1 **[SOURCE]** を押します。

2 **[AM]** にタッチします。

3 通常の選局または自動選局で記憶させたい周波数を選びます。

4 **[TRFIC]** を“ピッ”と音がするまで押します。

ラジオを止める

1 **[PWR]** を押します。

- もう一度**[PWR]**を押すと、電源を切る前の受信放送局（周波数）が受信されます。



- 交通情報を受信中、チューニングスイッチを押しても交通情報局は切り替わりません。
- 初期設定時は1620kHzにセットしてあります。
- バッテリーなどを交換したときは1620kHzにもどります。

CDプレーヤーの使い方



CDを聞く

ディスク差し込み口にCDを差し込むと、再生を始めます。

1 CDが差し込まれているときに **SOURCE** を押します。

2 **CD** にタッチします。

●再生を始めます。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 **▲**、または **▼** を押します。

- **▲** (上側) : 次曲を選ぶとき
- **▼** (下側) : 前曲を選ぶとき



ワンポイント

CDにタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。また、表示文字数は半角文字では最大28文字、全角文字では最大14文字まで表示できます。CD-TEXT表示は、収録タイトル文字数の多いディスクでは表示できない文字があります。

CDプレーヤーの使い方

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 ▲、▼を“ピッ”と音がするまで押す、または▲、▼にタッチし続けます。

- ▲ (上側) : 曲を進めるとき
▲
- ▼ (下側) : 曲を戻すとき
▼

“ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

聞きたい曲を探す

1 **SCAN** にタッチします。

- 全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度**SCAN**にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ曲を繰り返して聞く

1 **RPT** にタッチします。

- 一度**RPT**にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度**RPT**にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

1 **RAND** にタッチします。

- 一度**RAND**にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度**RAND**にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

CDを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度**PWR**を押すと再生が再開されます。

CDチェンジャーの使い方

別売のCDチェンジャーを接続すると操作できます。



CDを聞く

- 1 **SOURCE** を押します。

2 CDチェンジャー1台を接続している場合は **CDCH1** に、CDチェンジャー2台を接続している場合は **CDCH1** または **CDCH2** にタッチします。

聞きたい曲を選ぶ

「CDプレーヤーの使い方」(33ページ)を参照してください。

早送り・早戻しする

「CDプレーヤーの使い方」(34ページ)を参照してください。

聞きたいCDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいCDを選ぶことができます。

- 1 ディスク切り替えスイッチにタッチします。

● 選択されたCDの番号が反転します。



ディスク切り替えスイッチは、CDチェンジャーに挿入できるCDの枚数分を表示し、挿入したディスク番号のみ選択することができます。

CDチェンジャーの使い方

チェンジャー内の全CDから 聞きたい曲やCDを探す

聞きたい曲を探す

「CDプレーヤーの使い方」(34ページ)を参照してください。

聞きたいCDを探す

1 **DISC SCAN** にタッチします。

- CDチェンジャー内、全CDの1曲目に録音されている曲を、始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 **DISC SCAN** にタッチすると、そのまま再生を続けます。

聞きたい曲や同じCDを 繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

「CDプレーヤーの使い方」(34ページ)を参照してください。

いま聞いているCDを繰り返し再生する

1 **DISC RPT** にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

いま聞いているCDの中からランダムに聞く

「CDプレーヤーの使い方」(34ページ)を参照してください。

チェンジャー内全CDの中からランダムに聞く

1 **DISC RAND** にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

CDを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開されます。

MDチェンジャーの使い方

別売のMDチェンジャーを接続すると操作できます。



MDを聞く

1 **SOURCE** を押します。

2 **MDCH** にタッチします。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 **▲**、または **▼** を押します。

- **▲** (上側) : 次曲を選ぶとき
- **▼** (下側) : 前曲を選ぶとき

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 **▲**、**▼** を“ピッ”と音がするまで押す、または **▶**、**◀** にタッチし続けます。

- **▲** (上側) : 曲を進めるとき
- **▼** (下側) : 曲を戻すとき

“ピッ”と音がすると早送り (早戻し) モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り (早戻し) します。

聞きたいMDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいMDを選ぶことができます。

1 ディスク切り替えスイッチにタッチします。

- 選択されたMDの番号が反転します。



ワンポイント

- MDにタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。

TITLE にタッチすると、半角文字では最大28文字まで表示できます。

- ディスク切り替えスイッチは、MDチェンジャーに挿入できるMDの枚数分を表示し、挿入したディスク番号のみ選択することができます。

MDチェンジャーの使い方

チェンジャー内の全MDから聞きたい曲やMDを探す

聞きたい曲を探す

1 **SCAN** にタッチします。

- 全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度**SCAN**にタッチするとその曲で再生を続けます。

聞きたいMDを探す

1 **DISC SCAN** にタッチします。

- MDチェンジャー内、全MDの1曲目に録音されている曲を、始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度**DISC SCAN**にタッチすると、そのまま再生を続けます。

聞きたい曲や同じMDを繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

1 **RPT** にタッチします。

- 一度**RPT**にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度**RPT**をタッチすると解除されます。

いま聞いているMDを繰り返し再生する

1 **DISC RPT** にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度**DISC RPT**にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

いま聞いているMDの中からランダムに聞く

1 **RAND** にタッチします。

- 一度**RAND**にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度**RAND**にタッチすると解除されます。

チェンジャー内全MDの中からランダムに聞く

1 **DISC RAND** にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度**DISC RAND**にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

MDのタイトルや曲名などを表示する

1 **TITLE** にタッチします。

- タイトルや曲名などの表示中は、**TITLE**が**TITLE OFF**に切り替わり、**TITLE OFF**にタッチするとディスク切り替えスイッチが表示が切り替わります。

MDを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度**PWR**を押すと再生が再開されます。

TVの使い方

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、サイドブレーキをかけた場合のみTVをご覧になることができます。(走行中にTVモードを選択した場合、音声のみになります。)



TVを見る

1 **SOURCE** を押します。

2 **TV** にタッチします。

- TV画面になります。
- CONT** を押す、または画面にタッチすると、TV操作画面になります。



ワンポイント

TV操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
CONT を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。

TVの使い方

見たいチャンネルを選ぶ

手動で選ぶ

- 1 ▲、▼を押す、または▲、▼にタッチします。

- 押すごとに1ステップずつチャンネルがUP/DOWNします。

▲▲（上側）：
チャンネルUP（大きくなる）

▼▼（下側）：
チャンネルDOWN（小さくなる）

自動で選ぶ

- 1 ▲、▼を“ピーツ”と音がするまで押す、または▲、▼に“ピーツ”、“ピーツ”と2度続けて音がするまでタッチします。

- 現在、受信しているチャンネルに一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で止めたいときはもう一度押すと解除されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

プリセットスイッチから選ぶ

- 1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

- チャンネルの記憶方法は「チャンネルを記憶する」右記を参照してください。

- 2 **決定** にタッチすると、放送局受信画面に切り替わります。

チャンネルを記憶する

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは **AUTO.P** または **エリア**（42ページ参照）にタッチすると、AUTO.PまたはAREA.Pからマニュアルに切り替わります。

- 1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

- 2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- チャンネルが記憶されます。プリセットスイッチをタッチして選局できるようになります。

AUTO.P（自動）で記憶する

- 1 **AUTO.P** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.Pが表示され自動的に選局を始めます。“ピーツ”と音がすると自動選局が終了し記憶されます。
- もう一度 **AUTO.P** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

AUTO.Pで記憶したチャンネルを変更する

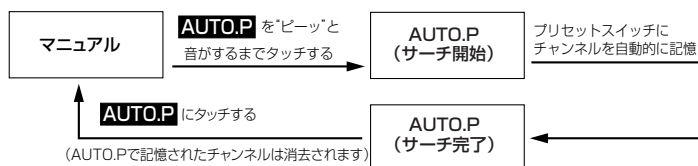
- 1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

- 2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

AUTO.Pについて

AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させたチャンネルは記憶されています。ふだんご覧になるチャンネルをマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶したチャンネルは呼び出すことができます。

AUTO.P動作中、または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態にもどります。(このときAUTO.Pで記憶したチャンネルは消去されます。) AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルとAUTO.Pスイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- 受信できたチャンネルが8局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

TVの使い方

TV設定画面の切り替え

TVモードでは、TV設定画面に切り替えるとして下記の操作ができます。

- エリアプリセット
- 音声多重放送の切り替え
- 画面モード（ワイドモード）の切り替え
- DSP、EQ、POSなどの音質調整
- マニュアルでのチャンネルの記憶

1 **設定** にタッチします。

- エリアプリセットや音声多重放送の切り替え操作などをおこなうことができます。
- **戻る** にタッチするとTV操作画面にもどります。

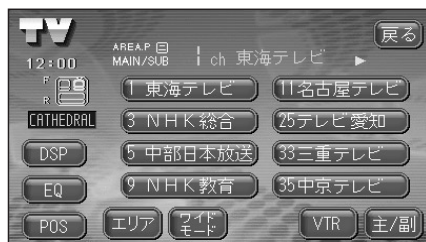


エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルの表示・選局ができます。

1 **エリア** にタッチします。

- “AREA.P” の表示とともにその地域で放送されている放送局名とチャンネルが表示されます。
- 放送局を選ぶときは、表示されているプリセットスイッチをタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの画面にもどります。



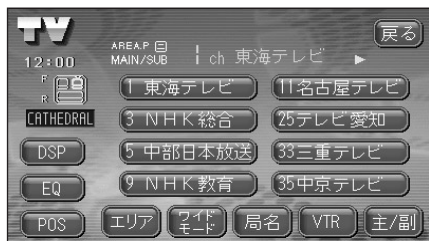
TV設定画面でチャンネルをマニュアルで記憶すると、TV画面に切り替わりますので連続して記憶できません。

局名スイッチについて

TVを受信したとき、同じチャンネルの放送局の放送地域が重複している地域で表示されます。

1 **局名** にタッチします。

●重複した放送局が切り替わります。

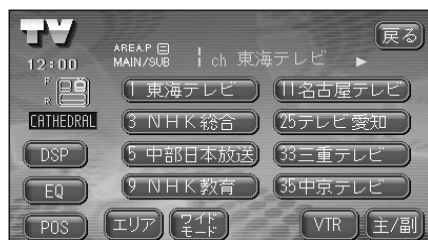


音声多重放送を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

1 **主/副** をタッチするごとに、下図の順に切り替わります。

主音声 → 副音声 → 主・副音声
MAIN SUB MAIN・SUB



TVモードを終わる

1 **PWR** を押します。

●もう一度 **PWR** を押すと電源を切る前の受信放送局（チャンネル）が受信（音声のみ）されます。



- 放送を受信できても、放送局名を表示できない地域があります。
- 2ヶ国語放送を受信したときは、**■** が表示され主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

DVDプレーヤーをお使いになる前に

本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示できるほか、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルに切り替えて再生することができます。

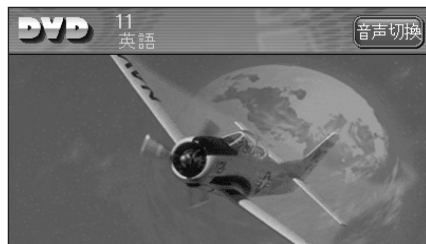
DVDビデオの特長

マルチ音声機能について

DVDディスクには複数の言語が収録されているものがあり、再生中、TVの音声多重放送のように音声言語を切り替えることができます。



一機の飛行機が...



One airplane is...

マルチアングル機能について

DVDディスクには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があり、再生中、好きなアングルに切り替えることができます。



映像のアングルが切り替わります。



本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

字幕表示機能について

DVDディスクには複数の字幕が記録されているものがあり、再生中に、字幕言語を切り替えることができます。また、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することもできます。



ディスクについて

再生できるディスクの種類について

本機は、NTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL, SECAM)用のディスクは再生することができません。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間	
	12cm／片面	1層	<MPEG 2方式> 133分
		2層	
	12cm／両面	1層	266分
		2層	484分

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

DVDディスクには (地域番号) が表示されているものがあり、このマーク（数字）はディスクの再生可能な地域を表しています。本機は、このマークに「2」または、「ALL」がないディスクは再生することができません。このようなディスクを再生しても、「このディスクは再生できません」というメッセージが画面に表示されます。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあり、本機で再生できないことがあります。






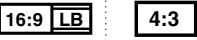

注意

DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が動かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

DVDプレーヤーをお使いになる前に

ディスクに表示されているマークについて

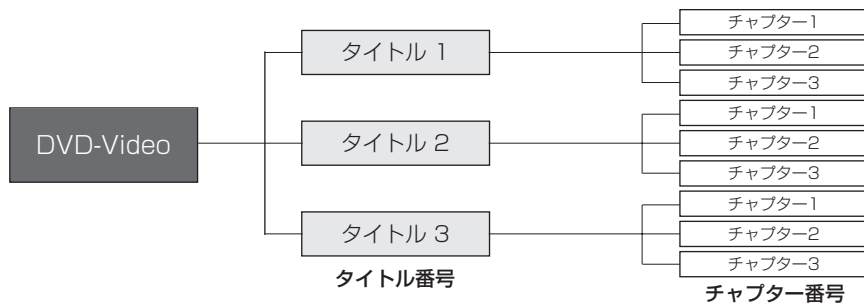
DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

マーク	意味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比(テレビ画面の横と縦の比率)を表します。 ●「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面です。
	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

ディスクの構成について

DVDに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りに分けられています。

大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号(タイトル番号)が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号(チャプター番号)が付けられています。



操作の流れについて

映像の操作や検索、DVDプレーヤーの初期設定などの流れを説明します。

●タッチスイッチにタッチすると、下記の操作画面に切り替わります。

●DVD操作画面



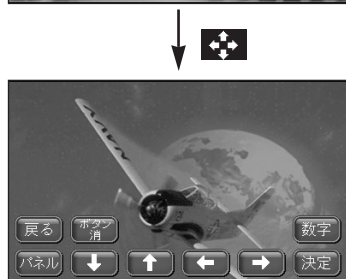
サーチ



●タイトル画面



設定



●メニュー操作画面

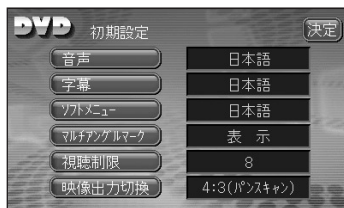
数字



●メニュー番号検索画面



初期設定



●初期設定画面

DVDプレーヤーの使い方

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、サイドブレーキをかけた場合のみDVDをご覧になることができます。(走行中にDVDモードを選択した場合、音声のみになります。)



DVDを見る

DVD差し込み口にDVDを差し込むと、再生を始めます。

1 DVDが差し込まれているときに **SOURCE** を押します。

2 **DVD** にタッチします。

- 再生を始めます。
- 操作スイッチ(タッチスイッチ)を表示する場合は **CONT** を押す、または画面にタッチします。

映像を操作する

映像を再生する

1 ▶ にタッチします。



ワンポイント

- タッチスイッチなどの情報は約6秒間表示されます。**CONT** を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。
- ディスクによって、自動再生されないものや、ディスクに記録されているメニュー項目を選択しないと、再生されないものがあります。「ディスクメニューを操作する」(50ページ)

早送り・早戻りする

再生している映像を早送り・早戻しすることができます。

パネルスイッチから早送り・早戻りする

1 ▲、または▼を“ピッ”と音がするまで押します。

- ▲（上側）：映像を進めるとき
- ▼（下側）：映像を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

タッチスイッチから早送り・早戻りする

1 ◀◀、または▶▶にタッチします。

- “ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。



映像を一時止める

1 || にタッチします。

- 一時停止中（||）に▶▶を短くタッチするとスロー再生します。



映像を止める

1 ■ にタッチします。



DVDプレーヤーの使い方

ディスクメニューを操作する

ディスクに収録されているメニューを操作することができます。

1 **▶NEXT** にタッチします。

2 **メニュー**、または **トップメニュー** にタッチします。

3 **⬇️** にタッチします。



4 **⬇️ ⬆️ ⬅️ ➡️** にタッチし、再生したい映像を選びます。

5 **決定** にタッチします。



DVDを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開（音声のみ）されます。

見たい映像を探す

見たい映像をタイトルやチャプター、メニュー番号（内容ごとに区切られた番号）から探すことができます。

チャプターから探す

1 **▲**、または **▼** を押します。

- **▲**（上側）：次のチャプターを選ぶとき
- **▼**（下側）：前のチャプターを選ぶとき



ディスクによって記録されているメニュー項目は違います。また、ディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能しない場合があります。

タイトル番号から探す

1 **サーチ** にタッチします。

- タイトル番号入力画面が表示されます。



2 **-**、**+**、**-10**、**+10** にタッチし、タイトル番号を入力します。

- 、または **+** にタッチすると、タイトル番号が1ずつ切り替わります。
- 10**、または **+10** にタッチすると、タイトル番号が10ずつ切り替わります。

3 **決定** にタッチします。

メニュー番号から探す

1 **NEXT** にタッチします。

2 DVD操作画面で  にタッチします。



3 **数字** にタッチします。

- メニュー番号入力画面が表示されます。



4 **-**、**+**、**-10**、**+10** にタッチし、メニュー番号を入力します。

- 、または **+** にタッチすると、メニュー番号が1ずつ切り替わります。
- 10**、または **+10** にタッチすると、メニュー番号が10ずつ切り替わります。

5 **決定** にタッチします。

DVDプレーヤーの使い方

タッチスイッチの表示を切り替える

再生中、タッチスイッチの表示を切り替えたり、タッチスイッチの表示を消すことができます。

タッチスイッチを消す

1 **ボタン消** にタッチします。

- **CONT** を押す、または画面にタッチすると、再度、タッチスイッチを表示します。



タッチスイッチの表示場所を切り替える

1 **NEXT** にタッチします。

2 **十字** にタッチします。

3 **パネル** にタッチします。

- タッチするごとにタッチスイッチの表示場所が上下に切り替わります。



画面表示・音声の切り替え

再生する映像の字幕言語や音声言語、表示アングルを切り替えることができます。

アングルの切り換え

ディスクに複数のアングルが収録されていると、アングルを切り替えて表示することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 マルチアングルが表示されているときに **アングル** にタッチします。

●アングル番号が表示されます。

マルチアングルマーク



3 **アングル切換** にタッチします。

●アングル番号が替わり、映像のアングルが切り替わります。

アングル番号



アングル切換 にタッチするごとに、ディスクに収録されているアングルが順に切り替わります。

DVDプレーヤーの使い方

字幕言語の切り替え

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕を切り替えて表示することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **字幕** にタッチします。

●字幕番号および言語が表示されます。



3 **字幕切換** にタッチします。

●字幕番号が替わり、字幕の表示言語が切り替わります。

字幕番号および言語



音声言語の切り替え

ディスクに複数の音声言語が収録されていると、音声を切り替えて再生することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **音声** にタッチします。

●音声番号および言語が表示されます。



3 **音声切換** にタッチします。

●音声番号が替わり、音声の再生言語が切り替わります。

音声番号および言語



ワンポイント

- **字幕切換** にタッチするごとに、ディスクに収録されている字幕言語が順に切り替わります。
- **音声切換** にタッチするごとに、ディスクに収録されている音声言語が順に切り替わります。
- dts音声フォーマットには対応していません。dts音声の収録されたディスクで、ディスクメニューから「dts音声」を選択しても音声は出ません。DVDビデオに収録されている「Dolby Digital音声」を選択してください。

DVDプレーヤーの設定

再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

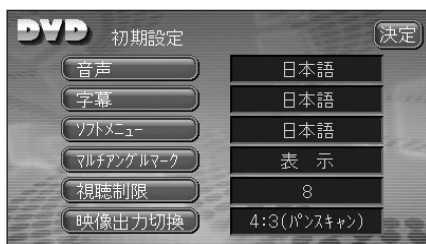


3 **初期設定** にタッチします。



●初期設定画面が表示されます。

4 各タッチスイッチにタッチすると下記の設定を行うことができます。



タッチスイッチ	機能	ページ
音声	再生する映像の音声言語を設定します。	次ページ
字幕	再生する映像の字幕言語を設定します。	次ページ
ソフトメニュー	表示するメニューの言語を設定します。	57
マルチアングルマーク	マルチアングルマークの表示・非表示を設定します。	57
視聴制限	再生できるDVDビデオを制限します。	58
映像出力切換	画面サイズを設定します。	59



初期設定画面で設定を変更した後、**決定** にタッチせずに、画面が切り替わるスイッチ (**CONT**、**SOURCE**) を押すとDVDの再生は停止した状態になります。再度再生する場合は映像操作画面で **▶** にタッチします。(48ページ参照)

DVDプレーヤーの使い方

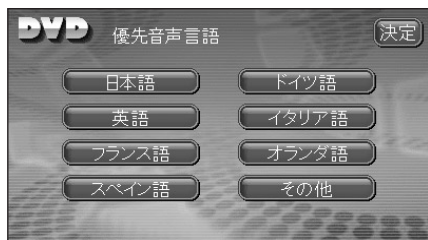
音声言語を設定する

再生中の映像をお好きな言語で楽しむことができます。

1 初期設定画面で **音声** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 優先音声言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては「言語コード一覧」(60ページ)を参照してください。



3 **決定** にタッチします。

字幕言語を設定する

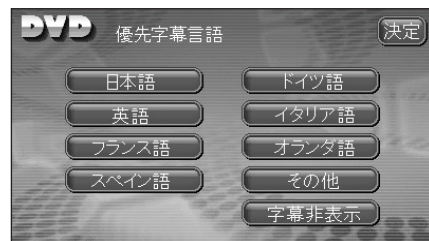
再生中の映像をお好きな字幕で表示することができます。

1 初期設定画面で **字幕** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると、画面に表示された言語以外の言語を設定できます。

● **字幕非表示** にタッチすると、画面に字幕を表示せずに再生することができます。



コードを入力する

1 優先字幕言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては「言語コード一覧」(60ページ)を参照してください。



3 **決定** にタッチします。



選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。

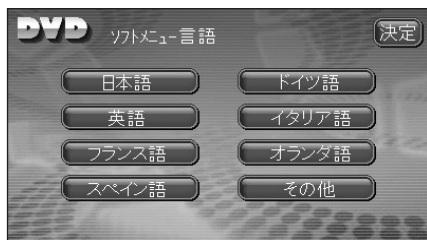
メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定することができます。

1 初期設定画面で**ソフトメニュー**にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 ソフトメニュー言語設定画面で**その他**にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては「言語コード一覧」(60ページ)を参照してください。



3 **決定** にタッチします。



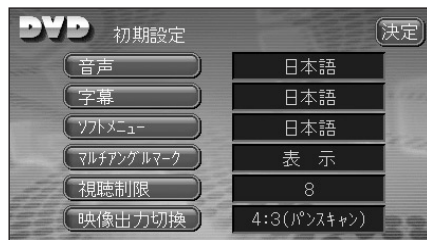
- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の右上にマルチアングルマークが表示されます。

マルチアングルマーク(アングル選択マーク)の表示を設定する

再生中、マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。

1 初期設定画面で**マルチアングルマーク**にタッチします。

● タッチするごとに「表示」と「非表示」が切り替わります。



2 **決定** にタッチします。

DVDプレーヤーの使い方

視聴制限を設定する

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

1 初期設定画面で **視聴制限** にタッチします。

2 数字を1番号ずつタッチして暗証番号を入力します。



3 **決定** にタッチします。

4 お好みの視聴制限レベルにタッチします。



5 **決定** にタッチします。



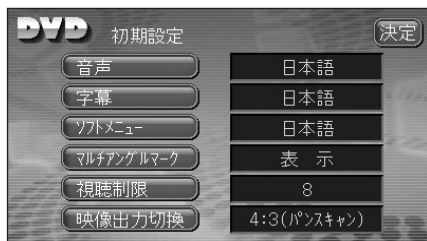
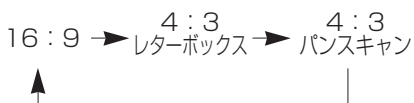
ワンポイント

- 視聴制限レベルが記録されていないディスクでは設定できません。
- 暗証番号は必ず入力してください。入力しないと視聴制限の設定を行うことができません。
- 暗証番号が入力されていない場合、上側に表示される暗証番号は「----」で表示されます。
- 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要となります。暗証番号を忘れないようご注意ください。もし、暗証番号を忘れた場合は、**クリア** に10回タッチすると、初期化（暗証番号未設定の状態）することができます。
- 視聴制限レベルは大きく3種類に分類されます。
 - レベル1 ……子ども向けのDVDソフトのみを再生します。（一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
 - レベル2～7…子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します。（成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
 - レベル8 ……全てのDVDソフトを再生します。（初期設定）

映像出力を切り替える

1 初期設定画面で **映像出力切換** にタッチします。

- タッチするごとに下図の順に画面サイズが切り替わります。



2 **決定** にタッチします。

● 「16:9」

通常のワイドサイズで表示されます。
4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、又は左右に伸びた表示になります。

● 「4:3 [レターボックス]」

上下両端が黒く表示された映像になります。
4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり (4:3) で表示されます。

● 「4:3 [パンスキャン]」

左右両端がカットされた映像になります。
4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり (4:3) で表示されます。



後席モニターなどの別のモニターを接続した場合、本機（フロント）で設定した映像出力切換のサイズにより、後席モニターで表示されるサイズは異なります。



お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

DVDプレーヤーの使い方

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、下記のコード番号から数字を入力し選択することができます。

コード	言語名称
1001	日本語
0514	英語
0618	フランス語
0405	ドイツ語
0920	イタリア語
0519	スペイン語
1412	オランダ語
1821	ロシア語
2608	中国語
1115	韓国語
0512	ギリシャ語
0101	アファル語
0102	アプバジャ語
0106	アフリカーンス語
0113	アムハラ語
0118	アラビア語
0119	アッサム語
0125	アイマラ語
0126	アゼルバイジャン語
0201	バシキール語
0205	ベラルーシ語
0207	ブルガリア語
0208	ビハーリー語
0209	ビスラマ語
0214	ベンガル語
0215	チベット語
0218	ブルトン語
0301	カタロニア語
0315	コルシカ語
0319	チェコ語
0325	ウェールズ語
0401	デンマーク語
0426	ブータン語
0515	エスペラント語
0520	エストニア語
0521	バスク語
0601	ペルシア語
0609	フィンランド語
0610	フィジー語
0615	フェロー語
0625	フリジア語
0701	アイルランド語
0704	スコットランドゲール語
0712	ガルシア語
0714	グアラニ語
0721	グジャラート語

コード	言語名称
0801	ハウサ語
0809	ヒンディー語
0818	クロアチア語
0821	ハンガリー語
0825	アルメニア語
0901	国際語
0905	Interlingue
0911	イヌビアク語
0914	インドネシア語
0919	アイスランド語
0923	ヘブライ語
1009	イディッシュ語
1023	ジャワ語
1101	グルジア語
1111	カザフ語
1112	グリーンランド語
1113	カンボジア語
1114	カナダ語
1119	カシミール語
1121	クルド語
1125	キルギス語
1201	ラテン語
1214	リンガラ語
1215	ラオス語
1220	リトアニア語
1222	ラトビア語
1307	マダガスカル語
1309	マオリ語
1311	マケドニア語
1312	マラヤーラム語
1314	モンゴル語
1315	モルダビア語
1318	マラータ語
1319	マライ語
1320	マルタ語
1325	ビルマ語
1401	ナウル語
1405	ネパール語
1415	ノルウェー語
1503	プロバンス語
1513	オモロ語
1518	オリヤー語
1601	パンジャブ語
1612	ポーランド語
1619	アフガニスタン語
1620	ポルトガル語

コード	言語名称
1721	ケチュア語
1813	レートロマン語
1814	キルンディー語
1815	ローマ語
1823	キンヤルワンダ語
1901	サンスクリット語
1904	シンド語
1907	サンド語
1908	セルボクロアチア語
1909	セイロン語
1911	スロバック語
1912	スロベニア語
1913	サモア語
1914	シヨナ語
1915	ソマリ語
1917	アルバニア語
1918	セルビア語
1919	シスワティ語
1920	セストゥ語
1921	スندا語
1922	スウェーデン語
1923	スワヒリ語
2001	タミル語
2005	テルグ語
2007	タジク語
2008	タイ語
2009	チグリス語
2011	ツルキ語
2012	タガログ語
2014	セツワナ語
2015	ニュージーランド語
2018	トルコ語
2019	ツォンガ語
2020	タタール語
2023	トウィ語
2111	ウクライナ語
2118	ウルドゥー語
2126	ウズベグ語
2209	ベトナム語
2215	ポラピュク語
2315	ウォルフ語
2408	コーサ語
2515	ヨルバ語
2621	ズールー語

VTRの使い方

市販のVTR機器を接続すると、ビデオをご覧になれます。エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみビデオをご覧になることができます。(走行中にVTRモードを選択した場合、音声のみになります。)

パワースイッチ

CONT
スイッチ

SOURCE
スイッチ



VTRを見る

- 1 **SOURCE** を押します。
 - 2 **TV** にタッチします。
 - 3 **VTR** にタッチします。
- VTR画面になります。
 - **CONT** を押す、または画面にタッチすると、VTR操作画面になります。
 - **TV** にタッチすると、TV画面を表示します。

VTRモードを終わる

- 1 **PWR** を押します。
- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開(音声のみ) されます。



VTR操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
CONT を押すと再度、表示します。

知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ	原因	処置
CD検索中です	CDチェンジャーにマガジンをセットしたとき、CDチェンジャーがディスクの有無を検索しているため。	検索が終わるまで、そのまま、しばらくお待ちください。
CDのふたが開いています	CDチェンジャーの扉が開いているため。	CDチェンジャーの扉を開けてください。
CDをお確かめください	CDが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しのときは正しく入れてください。
CDが入っていません	CDプレーヤーまたはCDチェンジャーにディスクが入っていないため。	音楽ディスクを入れてください。
異常検知でCD停止中です※1	なんらかの原因でCDプレーヤーまたはCDチェンジャーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
高温検知でCD停止中です※2	CDプレーヤーまたはCDチェンジャーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
CDマガジンが入っていません	CDチェンジャーにマガジンが入っていないため。	マガジンを入れてください。
走行中は音声を お楽しみください	走行中にTVまたはDVDを見ようとしたため。	車を安全な場所に停車させてサイドブレーキをかけてからお楽しみください。
ディスクをお確かめ下さい	DVDが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。 裏返しのときは、正しく入れてください。
ディスクが入っていません	DVDディスクが入っていないため。	DVDディスクを入れてください。
異常検知でDVD停止中です※1	何らかの原因でDVDプレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
温度異常のためDVD停止中です※2	DVDプレーヤーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
このDVDは演奏できません	対応していないDVDを入れているため。	対応しているDVDを入れてください。(11、45ページ参照)
受け付けられないコードです	DVDに対応していない言語コードを入力したため。	DVDに対応している言語コードを確認してください。
コード番号が正しくありません	暗証番号が正しく入力されなかったため。	正しい暗証番号を入力してください。
視聴制限がかかっており再生できません	視聴制限がかかっているため。	視聴制限の設定を変更して再生してください。

※1 イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

※2 この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰すると、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず、確認してください。

処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

症 状	考えられること	処置
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い	液晶の特性によるものです。	故障ではありません。しばらくそのままお待ちください。
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。しばらくすると安定します。
音が出ない	音量の調整不良。	音量スイッチを押して確認してください。
片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードがはずれている。	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量の調整不良。	左右音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない	調整した音質が放送、ディスクに含まれていない。	放送、ディスクを変更して確認してください。
CD・DVDが入らない	電源が入っていない。	車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	すでに1枚入っていて2枚目を入れようとしている。	すでに入っているCD・DVDをイジェクトしてから、お好みのCD・DVDを入れてください。
CD・DVDの再生ができない	結露している。	しばらく放置してから使用してください。（11ページ参照）
	CD・DVDに大きなキズやソリがある。	他のCD・DVDを入れてください。
	CD・DVDがひどく汚れている。	クリーニングしてください。（11ページ参照）
	CD・DVDが裏返しになっている。	CD・DVDを正しい向きで挿入してください。
	対応していないCD・DVDが挿入されている。	対応しているCD・DVDを挿入してください。（11、45ページ参照）
	自動再生されないDVDディスクが挿入されている。	DVDディスクに収録されているメニューを操作してください。（50ページ参照）
CDの操作画面は表示されるが、音声が出ない	MP3ファイルが収録されたディスクが挿入されている。	本機は、MP3に対応していません。
画面に CDCH1 、 CDCH2 が表示されない	CDチェンジャーの接続が不完全。	CDチェンジャーとの接続を確認してください。
MDCH にタッチしても、MDチェンジャーにならない	MDチェンジャーの接続が不完全。	MDチェンジャーとの接続を確認してください。

知っておいていただきたいこと

症 状	考えられること	処置
音声は出るが、映像が出ない	画面消しボタンで画面を消したとき。	SOURCE を押してください。 (25ページ参照)
音声は出るが、TV映像が出ない (停車中)	サイドブレーキを引いていない。	サイドブレーキを引いてください。
映像も音も出ない	車の電源スイッチが入っていない。	車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	接続コードの接続が不完全。	各接続コードの接続を確認してください。
TVの映像または音が出ない	VTR入力になっている。	TV にタッチして、放送局を選択してください。
ディスプレイに光る点がある	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。

目的別索引

画面・音の調整について

<画面の調整に関して>

■オーディオ操作画面や、TV・DVDの画面を見やすくしたい

「画面の調整・設定」……………P24

■操作画面、または設定画面の表示を、自動で切り替えたい

「優先画面の設定」……………P27

■画面を消したい

「画面を消すときは」……………P25

■壁紙を切り替えたい

「壁紙の切り替え」……………P26

■画面をワイドモードにしたい

「画面モード切り替え」……………P28

<音の調整に関して>

■音量をかえたい

「主音量の調整」……………P16

■スイッチを操作したときの操作音を消したい（鳴らしたい）

「操作音の設定」……………P16

■音質をかえたい

●演奏会場を擬似的に創り出したい

「DSP（音場）の設定」……………P18

●イコライザを調整したい

「EQ（イコライザ）の調整」……………P19

●音量バランスを調整したい

「音量バランスの調整」……………P22

●小・高音量時にメリハリのある音にしたい

「小音量時の低・高音調整」……………P23

●サブウーファを調整したい

「サブウーファの調整」……………P23

目的別索引

オーディオ関係

ラジオの使い方について

■ラジオを聞きたい

「ラジオを聞く」……………P29

■放送局を探したい

「聞きたい放送局を選ぶ」……………P29

■放送局を記憶させたい

「放送局を記憶する」……………P30

■今、いるエリアの放送局が知りたい

「エリアスイッチについて」……………P31

CD・CDチェンジャーの使い方について

■CDを聞きたい

「CDを聞く」……………P33、35

■聞きたい曲やCDを選びたい

「聞きたい曲を選ぶ」……………P33

「聞きたいCDを選ぶ」……………P35

■聞きたい曲が何番目、またはどのCDに入っているかわからない

「聞きたい曲を探す」……………P34

「チェンジャー内の全CDから聞きたい曲やCDを探す」……………P36

■いま聞いている曲やCDを繰り返し再生したい

「同じ曲を繰り返し聞く」……………P34

「聞きたい曲や同じCDを繰り返し聞く」……………P36

■いつもと違う順番で聞きたい

「曲の順番をランダムに聞く」……………P34、36

MDチェンジャーの使い方について

■MDを聞きたい

「MDを聞く」P37

■聞きたい曲やMDを選びたい

「聞きたい曲を選ぶ」P37

「聞きたいMDを選ぶ」P37

■聞きたい曲が何番目、またはどのMDに入っているかわからない

「聞きたい曲を探す」P38

「聞きたいMDを探す」P38

■いま聞いている曲やMDを繰り返し再生したい

「いま聞いている曲を繰り返し再生する」P38

「いま聞いているMDを繰り返し再生する」P38

■いつもと違う順番で聞きたい

「曲の順番をランダムに聞く」P38

■MDに記録した情報を表示したい

「MDのタイトルや曲名などを表示する」P38

目的別索引

TVについて

TVの使い方について

■TVを見たい

「TVを見る」P39

■放送局を探したい

「見たいチャンネルを選ぶ」P40

■放送局を記憶させたい

「チャンネルを記憶する」P40

■TVの設定画面に表示を切り替えたい

「TV設定画面の切り替え」P42

■今、いるエリアの放送局が知りたい

「エリアスイッチについて」P42

■今、聞いている音声を切り替えたい

「音声多重放送を切り替える」P43

DVDビデオ/VTRについて

DVDプレーヤーの使い方について

■DVDビデオを見たい

「DVDを見る」P48

■ディスクについて知りたい

- ディスクやパッケージに表示されているマークの意味が知りたい
「ディスクに表示されているマークについて」P46
- 再生できるディスクを知りたい
「再生できるディスクの種類について」P45
- ディスクの構成を知りたい
「ディスクの構成について」P46

■ディスクに記録されているメニューを操作したい

「ディスクメニューを操作する」P50

■再生している映像を操作したい

「映像を操作する」……………P48

■映像を選びたい・探したい

「チャプターから探す」……………P50

「タイトル番号から探す」……………P51

「メニュー番号から探す」……………P51

■タッチスイッチの表示を切り替えたい

「タッチスイッチの表示場所を切り替える」……………P52

■字幕や音声、映像のアングルを切り替えたい

「アングルの切り換え」……………P53

「字幕言語の切り替え」……………P54

「音声言語の切り替え」……………P54

■プレーヤーの設定について知りたい

「音声言語を設定する」……………P56

「字幕言語を設定する」……………P56

「メニュー言語を設定する」……………P57

「マルチアングルマーク（アングル選択マーク）の表示を設定する」……………P57

「視聴制限を設定する」……………P58

「映像出力を切り替える」……………P59

■VTRを使いたい

「VTRの使い方」……………P61

その他

わからなくてお困りのとき

■画面のメッセージがわからない

「こんなメッセージが表示されたときは」……………P62

■故障かどうかわからない

「故障とお考えになる前に」……………P63

索引

五十音順

ア

- エリアスイッチ…………… 31,42
音質の調整…………… 17
音声多重放送…………… 43

カ

- 画質調整…………… 24,26
壁紙…………… 26
画面の調整…………… 24
画面モード切り替え…………… 28

サ

- サブウーファの調整…………… 23
主音量の調整…………… 16
操作音の設定…………… 16

ハ

- 昼画表示…………… 24,25

マ

- マルチアングルマーク…………… 53

ヤ

- 夜画表示…………… 24,25

ラ

- ラジオの使い方…………… 29

アルファベット

A

- AUTO .P…………… 30,40

C

- CDチェンジャーの使い方…………… 35
CDプレーヤーの使い方…………… 33

D

- DISC RAND…………… 36,38
DISC RPT…………… 36,38
DISC SCAN…………… 36,38
DSP（音場）の設定…………… 18
DVDビデオの特長…………… 44
DVDプレーヤーの使い方…………… 48

E

- EQ（イコライザ）の調整…………… 19

M

- MDチェンジャーの使い方…………… 37

P

- POS…………… 21

R

- RAND…………… 34,38
RPT…………… 34,38

S

- SCAN…………… 34,38

T

- TV設定画面…………… 42
TVを見る…………… 39

V

- VTRの使い方…………… 61

富士通テン株式会社

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

電話 神戸 (078) 671-5081



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この説明書は、再生紙を使用しています。

©富士通テン株式会社 2003

090002-25920700
0306C (N)